

# がん登録部会からの報告

令和3年7月9日

国立がん研究センターがん対策情報センター  
がん登録センター 東 尚弘

## 話題

- 各種日程(データ収集、研修、試験)のお知らせ
- 院内がん登録全国集計データ利用に向けて
- 新しい集計閲覧システムの紹介
  - 全国集計結果閲覧システム
  - 生存率集計結果閲覧システム
- 院内がん登録カバー率の施設別集計案
- 院内がん登録活用に向けたアンケート調査計画

## データ収集日程

- 予後調査支援事業（2010年症例10年、2015年症例5年予後）  
6月21日（月）～7月16日（金）
- 2009年症例10年予後、2014年症例5年予後  
7月5日（月）～8月6日（金）
- 2020年症例全国集計（いわゆる0年集計）
  1. がん診療連携拠点病院等 7月5日（月）～8月6日（金）
  2. 都道府県推薦施設・任意 8月10日（火）～9月10日（月）
- QI研究（2019年症例）

参加募集：	～	8月2日（月）
データ収集	～	8月31日（火）

## がん登録実務者研修・試験

- ① 初級/中級認定者研修（e-learning）  
申込：8月16日～8月31日、研修開催：9月13日～10月11日
- ② 認定更新試験（CBT）  
申込：9月13日～10月15日、実施：11月予定
- ③ がん登録実務初級者認定試験（CBT試験）  
申込：8月16日～9月3日、実施：10月予定  
中級認定試験はすでに締切、実施は8月、10月の予定
- ④ データ分析研修（オンライン聴講のみも今年から可能！）  
申込：8月2日～8月31日  
実施：基礎：11月15日、17日、応用：11月24日、29日

注：

初級：がん登録実務者初級者、中級：院内がん登録実務者中級者、CBT：コンピュータ試験

# 院内がん登録全国集計データの利用体制整備

2016年症例～について、全国がん登録利活用に準じて整備  
(検討予定順)

1. 都道府県拠点病院協議会がん登録部会で意見収集
2. 厚生科学審議会がん登録部会で検討
3. 国立がん研究センターにおいて規程等の整備

(利用検討体制・整備案)

- 定型業務と非定型業務に区分
- 非定型業務は個別にデータ利用委員会(仮称)で審査
- 提供データのプライバシー保護

# 院内がん登録全国集計結果閲覧システム拡充

◆ 部位別集計結果をシステムで閲覧できるよう修正

<https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbcrtables/>



※白血病、悪性リンパ腫と  
いった大きな分類での  
登録数検索が可能  
(施設・都道府県別)

## 院内がん登録生存率集計結果閲覧システム(初公開)

- ◆3年・5年生存率を、がん・性・年代・病期・手術の有無別に閲覧  
(実測生存率・相対生存率)

国立がん研究センター  
がん情報サービス ganjoho.jp がん登録・統計

院内がん登録生存率集計結果閲覧システム

**検索条件**

※院内がん登録生存率集計結果閲覧システムについて(PDF:140KB)

はじめに「がんの種類」と「診断年/生存率」を選んで結果表示ボタンを押して下さい。  
性別や年齢等別に詳しく生存率を調べたい場合は、詳細設定を開いて選択して下さい。

がんの種類  ※上皮内がんを除く

診断年と生存率

↑ 詳細条件を閉じる

調べたい条件に当てはまるように以下の項目を選択して下さい。  
例えば、(手術の有無に関係なく)60代男性の1期の生存率を調べたい場合、  
性別「男性」、総合病期「1期」、年齢階級「60代」、手術の有無「全体」を選んで下さい。  
※「表示されるグラフ数」は20本以内に収まるようにして下さい。

性別  男女(全体)  男性  女性

総合病期  全体  1期  Ⅱ期  Ⅲ期  Ⅳ期

年齢階級(歳)  全年齢  40未満  40代  50代  60代  70代  80以上

手術の有無  全体  手術有  手術無

表示されるグラフ数: 4本

院内がん登録生存率集計結果閲覧システム

がんの種類 大腸癌 診断年と生存率 2012-2013年5年生存率 性別 男女

病期 Ⅰ期 年齢階級 全年齢、50代、60代、70代、80以上 手術の有無 全体

実測生存率 相対生存率 ※右クリックするとグラフが実測になります

グラフ	性別	病期	年齢階級	手術の有無	対象数	実測生存率
A	男女	1期	全年齢	全体	26,665	82.6%
B	男女	1期	50代	全体	3,132	93.9%
C	男女	1期	60代	全体	7,859	90.3%
D	男女	1期	70代	全体	9,371	81.2%
E	男女	1期	80以上	全体	4,899	61.4%

<https://hbc-s-survival.ganjoho.jp/>

## 院内がん登録カバー率の推定

これまで、

- 2016年診断例より全国がん登録罹患集計が公開
- 昨年、2017年例の院内がん登録カバー率(71.7%)を公開
- 都道府県別の院内がん登録、国の指定する拠点病院での初回治療開始例数を算出し、併せて公開

今後、

- 施設のがんカバー率を公開していく方向で合意
- 都道府県内・外患者を含め、全がん・5部位から公表開始
- 初回治療開始例と全登録数(その他除く)の双方を集計
- 二次医療圏別登録数を都道府県別に集計して公開予定
- \* 多重がんルール等を含め数値解釈の留意点を添えて公開

## 施設で院内がん登録を効果的に活用するために(予備調査結果)

がん登録部会(医師・実務者委員)のインタビュー結果	対応
<p><b>・院内がん登録の特徴の明確化</b>  <b>さらなる詳細集計の実施</b>                      ・新型コロナのがん診療への影響把握                      ・治療開始日数や外科・鏡視下手術の内訳                      ・市区町村別患者動向、希少がん等集計</p> <p><b>施設での活用のための支援</b>                      ・CSVファイル等可視化しやすいデータ還元やグラフ化できるツールの提供(小数例実数表示)</p> <p><b>都道府県等での活用のために</b>                      ・院内がん登録個票データの都道府県や研究利用</p>	<p>・2019年全国集計にて、診断から治療開始までの日数、外科・鏡視下手術の内訳提示(全体集計)                      ・今後、施設別等も公表できるよう準備中</p> <p>・参加施設に限定し、小数例を実数表示できるようシステム改修を検討中</p> <div data-bbox="815 510 1406 568" style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;">                         都道府県庁へ個票データの還元予定                     </div>
<p><b>院内がん登録の実施における課題</b>  <b>【院内がん登録現状】</b>                      ・ルール変更によりデータ解釈が困難                      ・集計する時間や人材の確保が困難</p> <p><b>【課題】</b>                      ・<b>登録漏れ等のデータ精度管理の問題</b>                      ・登録ルール上の問題                      (多様化するがん治療を補足することが困難)</p> <p>・<b>全国がん登録との整合性</b>                      ・予後調査(住民票紹介)の難しさ</p>	<div data-bbox="815 734 1406 860" style="border: 1px solid pink; padding: 10px; text-align: center;">                         全国がん個票データとの検証                          全国がん登録との整合性を検討中                     </div>

◆このインタビュー結果を受け、施設での院内がん登録の活用を促進するために、実態と課題把握のためのアンケート調査を実施予定